

市町村研修担当者に聴く

～第16回～



平成30年5月1日号

研修センターでは、「市町村自らの手による自らの研修実施」という基本理念のもと、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行っていきたくと考えています。

そこで、市町村等における実際の取り組みや研修業務に対する思いについて紹介をします。

各務原市役所 福田 麻衣 さん

◎各務原市が独自で行っている研修で、良いと思う研修は どんなものがありますか？

各務原市では、今まで入庁後5年間をかけて基礎的な能力を身につける研修を行っていたが、平成30年度より3年間で行うよう変更する予定です。例えば、文書管理、財政、契約経理、会計といった共通事務を担当課が講師となり研修しています。

さらに、入庁後3年間かけて消防防災救命業務研修を行っています。

具体的な研修内容について1年目は、消防団の活動を知っていただくとともに、チームワークなどを身につけるために規律の訓練をしていただきます。2年目は、市の防災の仕組みを学んでいただきます。防災の主管課より市がどのような取り組みをしているのかを講義してもらいます。3年目は、クロスロードゲームを行います。実際に災害が発生した際に職員として判断が迷うような事例をみんなで話し合い、どう対応していくかをゲーム形式で行います。あわせて、救命業務(AEDを使った心肺蘇生、搬送法)に関しては3年間反復で行い、身につけてもらいます。このように入庁3年間で、防災について学び、意識を高めるとともに救命業務を身につけることができるプログラムになっています。

また、今年度初めて法制執務研修を行いました。法律の読み方・作り方は全職員知っておくべき必須の能力ですので、しっかりと共通認識をもち、基礎能力を高めてもらうために、今後は体系に組み込み、階層別として主任主事級の若い段階で受けてもらうようにしていきます。

◎各務原市では、独自に新規採用職員研修を実施しているとお聞きしましたが、どのようなことを行っているか教えて下さい。

各務原市では、新規採用職員研修を年に複数回実施しています。まず、入庁前の3月に、各務原市の概要・施設見学、基本的な公務員の服務・自治制度について、接遇、情報セキュリティーなど各務原市職員として必要最低限のことを4日間かけて学んでいただきます。

入庁後すぐに、庁内システムの操作研修を実施し、その後、6月頃に人権に関する研修を実施しています。

8月には、夏季研修として、部長講話や4ヶ月を振り返ったプレゼンテーションを行っています。プレゼンテーションは、自分の振り返りにもなりますし、他の新人がどのような仕事を行っているのかを知る良い機会にも



なります。

10月に先ほどお話した消防・防災・救命業務研修。そして、提案実現型研修と続きます。この研修は、3ヶ月ぐらいかけてテーマに沿ったグループワークを行い、最後に副市長に政策実現のための提案を発表します。

各務原市では1年目から研修がたくさんありかなりハードな1年ですが、職場内で研修が浸透してきており、上司も理解を示して研修に送り出してくれるので上手く実施できています。

◎人事交流派遣事業について、どういったところに派遣を行っていますか？

4年前から隣接する関市と美濃加茂市の3市連携で職員を派遣し人事交流を行っています。各市へ1人ずつ2年間派遣をしています。さらに、各市持ち回りで市の政策などを発表し交流会も行っています。



◎メンター職員制度を実施していると伺いましたが、どのように行っていますか？



新規採用職員には全員、3年間課内メンターと1年間課外メンターをつけています。

課内メンターは、人材育成を意識しながら一般的な業務の指導・相談などを行うため監督職前の人をお願いしています。

課外メンターは、職場を離れたところでのよき相談役としての役割を担ってもらっています。また、横のつながりを作ってもらうきっかけにもなってほしいというねらいもあります。課外メンターは、新規採用職員に年齢が近い20代から30代の職員で人事課が指名しています。

メンター制度に関しては、毎年新人が配属された所属長に人事課から説明をしています。

また、入庁3年間シートを書いてもらっています。1年目は毎月新人が振り返りをして、それに対して課内メンター→係長→課長の順でコメントをしてもらい、最後に人事課に提出してもらいます。2年目は、3ヶ月に1回にしています。シートを書くとともに、面談で会話をしてコミュニケーションをとってもらうことを重要視して行っています。

編集部より

年度末のお忙しい中、インタビューをお引き受けいただきありがとうございました。各務原市では、特に新規採用職員の育成に対して熱心に取り組んでいる様子が伺えました。本日伺ったことを参考に、研修センターでも、研修内容の見直しを行いたいと感じました。